

石狩支部 支部長 佐藤 則仁

1 支部活動の状況

令和4年度北海道公立学校事務職員協会石狩支部総会は、新型コロナウイルス感染予防の影響により、昨年度同様、令和4年6月22日から28日まで審議期間を設けて、メールにより資料を配布し、書面審議で実施しました。令和3年度事業報告、決算報告及び監査報告、令和4年度事業計画及び予算、役員改選を審議し、可決されたことを受け、支部活動をスタートさせました。

(1) 令和4年度総務会計部事業計画

各部との連絡調整を密にし、事業の円滑な運営遂行に努め事務を処理する。

ア 役員間の連携

費用対効果を考慮し、メール等の活用による協議を行うとともに、必要に応じ役員会を開催する。

イ 会計予算の適正かつ効率的な執行

(2) 令和4年度調査研究部事業計画

ア 活動方針及び調査研究部の体制

学校事務における課題等を的確に把握し、改善するための自己研修の場として、支部研究協議会での発表及び令和6年度全道大会の研究発表に向けた研究活動を行う。調査研究部の体制は選出された調査研究部員をいくつかのブロックに分けてテーマをそれぞれ決めて研究活動を行う。

イ 事業計画

ブロックごとにテーマを決め、昨年度までのグループ討議で提起された問題点を更に深めて行くなど支部及び全道での発表に向けた活動を行う。

ウ 活動計画

(ア) 調査研究部会 (令和4年8月以降複数回)

(イ) 石狩支部研究協議会 (令和5年2月予定)

(3) 令和4年度広報厚生部事業計画

学校事務を行う活力の増進を図る事業を実施するとともに、広報誌等により各会員の相互交流を図る。

ア 石狩支部パークゴルフ大会など、新型コロナウイルス感染対策を考慮し、種目及び時期等を検討し進める。

イ 広報誌「青鷺」第74号 (令和5年3月下旬発行予定)

2 支部役員一覧

支部長 佐藤 則仁 (札幌北陵高等学校)

副支部長 (調査研究部担当) 脇坂 博行 (札幌あすかぜ高等学校)

副支部長（広報厚生部担当）	南	俊	宏	（恵庭北高等学校）
監事	佐	藤	義	人（札幌月寒高等学校）
監事	齋	英	範	（札幌東豊高等学校）
総務部長	土	池	健	吾（札幌北陵高等学校）
調査研究部長	星	野	博	（千歳北陽高等学校）
広報厚生部長	新	田	淳	（千歳高等学校）

3 年間行事

令和4年 6月 石狩支部総会（書面審議）
10月 支部レクリエーション事業
令和5年 2月 支部研究協議会
3月 広報誌発行

4 学校数・会員数

高等学校 38校 180名
特別支援学校 19校 81名（うち分校5校）

5 支部の特色

石狩は札幌市を中心に4市1村より構成され、当支部は、学校数及び会員数ともに道内で最多となる協会最大の支部となっております。ただ、支部活動の中心となる調査研究については、数年前から全校を3ブロックに分け、それぞれテーマを定め、研究活動をすすめることとしておりますが、近年は多忙な学校も年々増加し、また新型コロナウイルス感染症の影響も重なり、活動が停滞気味となっている現状にあり、課題となっております。

ここ数年来の学校事務室を取り巻く環境の変化や協会活動に対する意識の変化など、他支部と同様の問題もありますが、当面の令和6年度の全道大会研究発表の準備などを通じて支部の研究活動体制の見直しを図るなど、支部活動を徐々に回復させ、支部会員の資質向上と相互交流に取り組んでいきます。